

青年教職員は今

2017 年度版

—アンケート結果から見る若い教職員の思い—



東京教組青年部

青年教職員は今 —アンケート結果から見る若い教職員の思い 2017 年度版—

青年部が毎年実施している「東京都で働く若い教職員の方々へ」と題するアンケートに、今年は277名（昨年度243名）の皆さんが回答を寄せてくださいました。

今年も不安や悩みや、長時間勤務、パワーハラスメントに苦しみながらも、働きがいを持って頑張る青年教職員の姿までが浮き彫りになりました。

回答して下さった277名の内訳は、小学校180名（65%）中学校91名（33%）幼稚園6名（2%）でした。

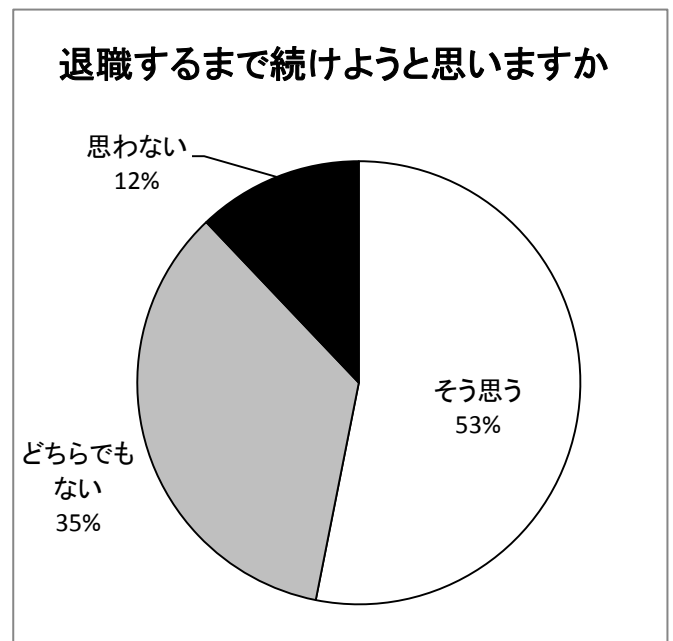
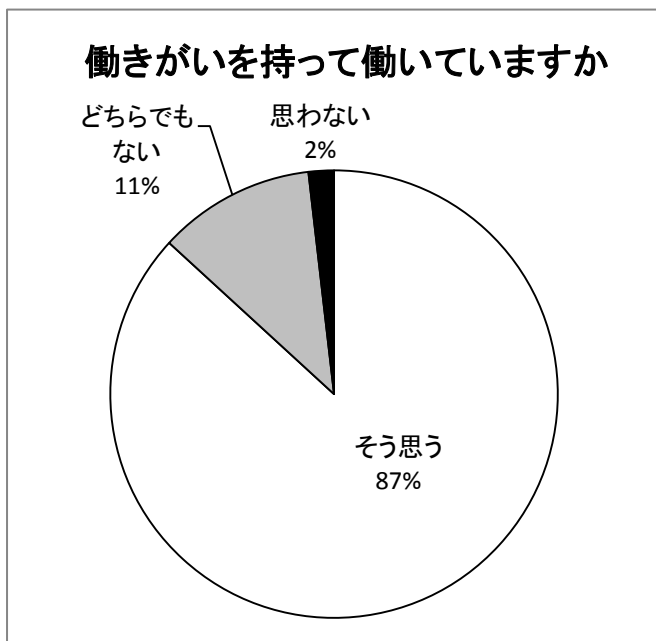
新採用が一番多く119名（うち期限付任用16名）に続き、2年目102名、3年目24名、4年目以降26名、産育休補助教員6名、その内、学級担任が184名（66%）でした。

働きがいを感じ、退職まで続けようと考えている青年教職員

最初の質問、「働きがいを持って働いていますか？」に対し、「そう思う」が87%（85%）、「どちらでもない」が11%（11%）、「思わない」が2%（4%）でした。

また、「退職するまで続けようと思えますか？」という質問には、「そう思う」が53%（63%）、「どちらでもない」が35%（31%）、「思わない」が12%（6%）という結果でした。

（ ）内は昨年度の数値



ほとんどの方が、働きがいがあると答えていらっしゃると思いますが、退職するまで続けようと思っている方が大きく減っているのが、気になります。

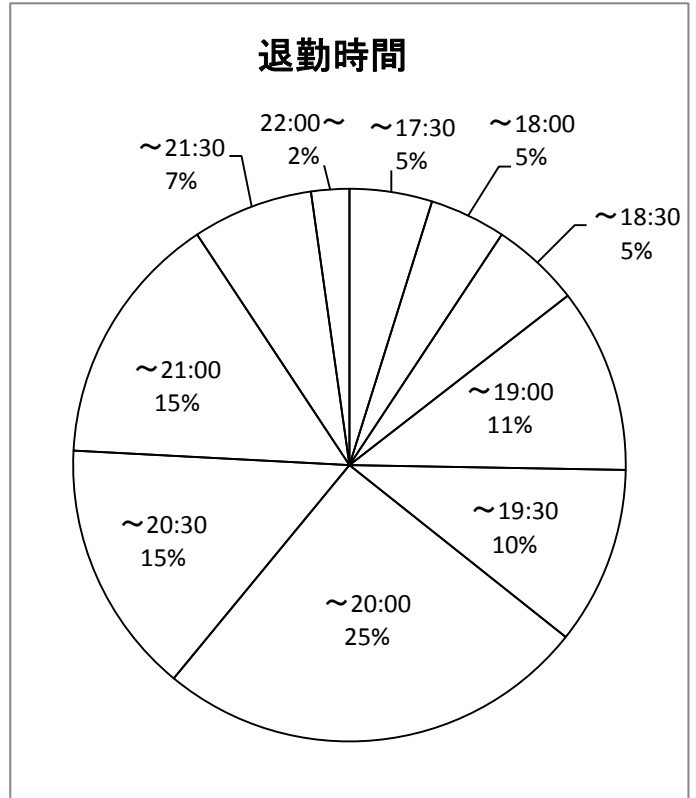
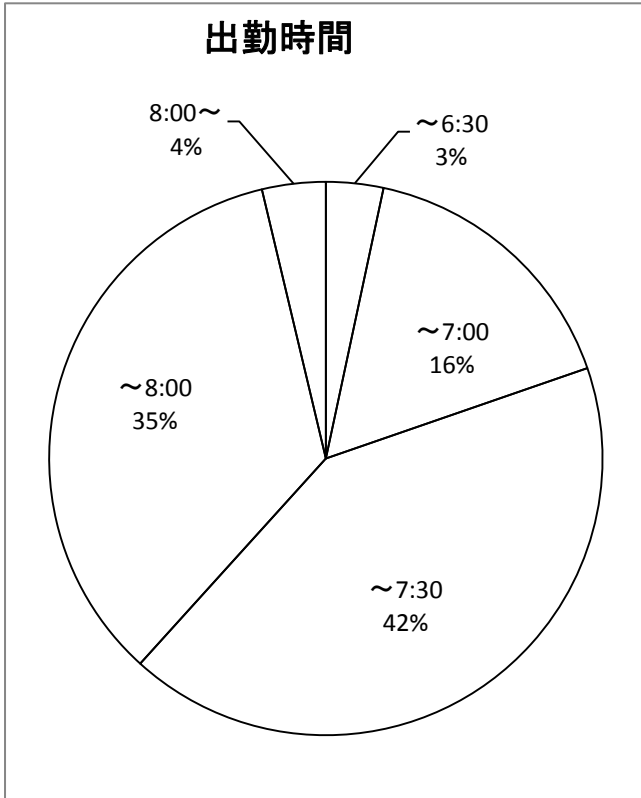
過酷な勤務実態からの、健康への不安、将来への不安などによるものと思われます。このような声が寄せられています。

- ・勤務時間が異常。部活動（バスケットボール）をしていると、月に1日も休日がないことがある。日々の生活に生きがい・楽しみを見つけられず、早く退職したいと常々考えている。疲れた。こんな働き方は絶対におかしい。人間らしい生活をおくりたい。
- ・教員の人との結婚を考えているが、家族と過ごす時間がとれる気がしない。結婚することで、互いに苦しくなることしか想像できない。
- ・忙しい。睡眠時間も十分に取れず、定年までやり続けることは無理だと強く感じます。

在勤時間は、平均 12 時間 26 分！

1 日、15 時間以上勤務の人も！！

出勤時間、退勤時間についてお聞きしました。



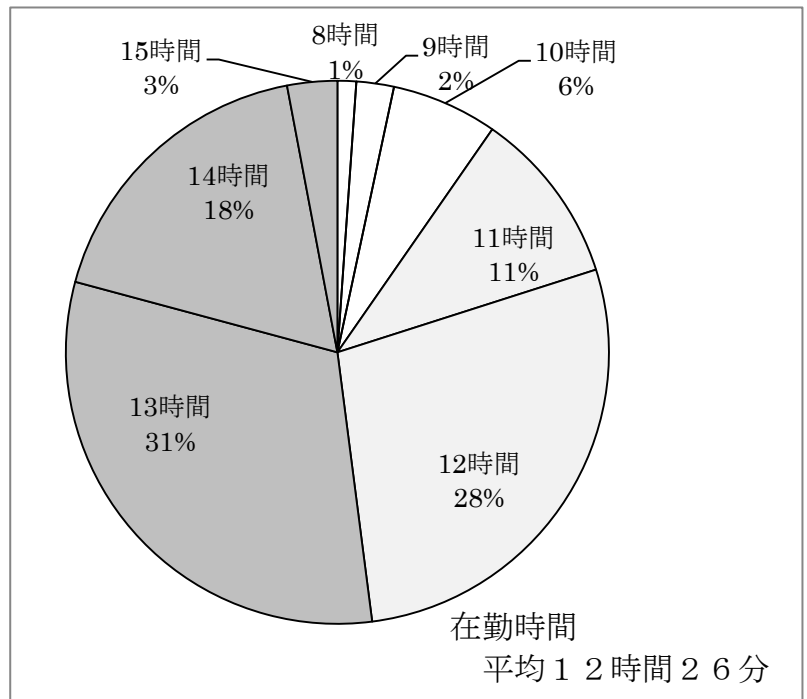
出勤の平均は、7 時 28 分

退勤の平均は、19 時 54 分

青年教職員の長時間勤務の実態は、昨年よりさらに深刻になっています。

今回のアンケート結果では平均在勤時間 12 時間 26 分 (昨年より 9 分、一昨年度より 26 分増)。実際にはとれていない休憩時間を差し引いても、毎日の超過勤務が 4 時間近くにもなってしまいます。長時間勤務は悪化しています。

毎日 11 時間以上勤務の人が 91% (91%、一昨年度 87%)。労働安全衛生法に基づき医師による面接指導が必要な月 80 時間以上の超過勤務の人が 80% (75%、一昨年度 71%) 医師による面接指導が義務付けられている月 100 時間以上の人は 52% (50%、一昨年度 42%) 1 日で 2 日分近い勤務時間となる 15 時間以上の人



**在勤時間
平均 12 時間 26 分**

15 時間以上の人 が 3% (7%) です。管理職は、どこまでこの実態を知っているのでしょうか。

労働基準法では、労働時間は 1 日 8 時間・1 週 40 時間と定められています。これを超える労働は時間外労働となり、基礎賃金の 25 パーセント増し以上の割増賃金 (残業代) を支払わなければ

なりません。また、1ヶ月に60時間を超えたときは、基礎賃金の50パーセント増し以上の割増賃金（残業代）を支払わなければならないとされています。

このため民間企業では、労働時間を正しく把握すると同時に無定量の残業を抑えるため、残業する場合、管理職に報告し、許可を得ることが必要になっています。（いわゆるサービス残業が発生していることも事実ですが）

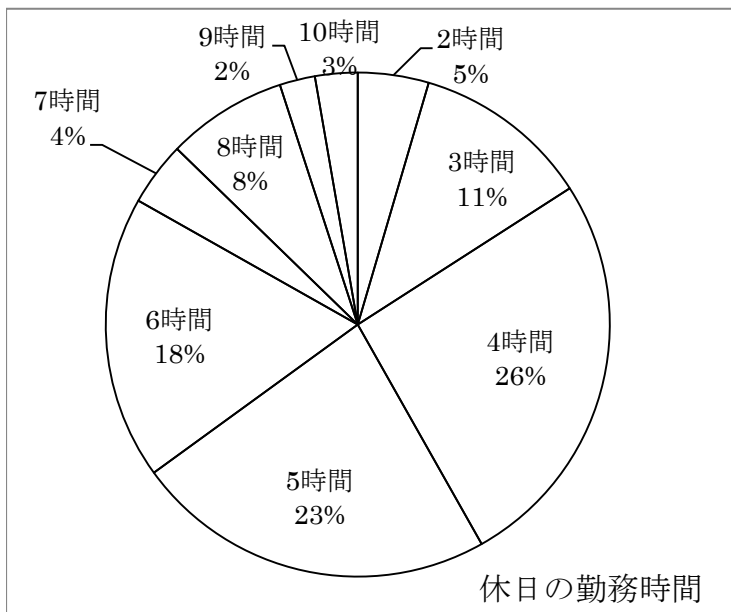
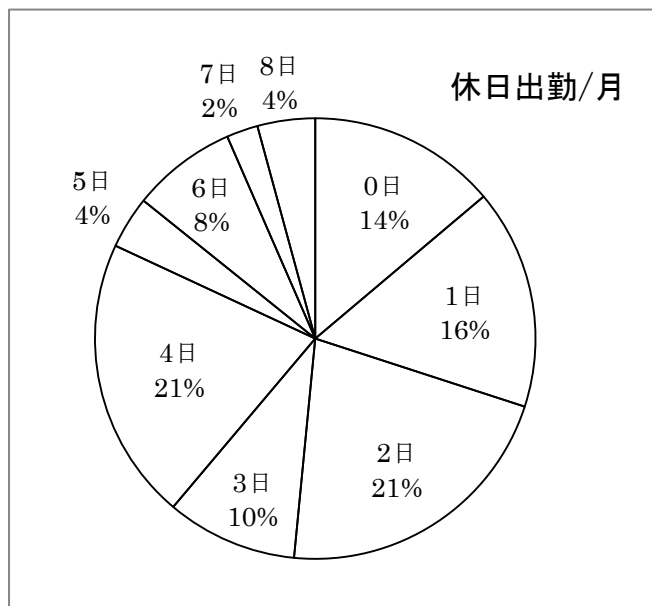
私たち教員には割増賃金は適用されませんが、管理職は労働安全衛生法上、正しい労働時間を把握しなければなりません。そして過度な超過勤務に対しては、減らすよう努力しなければなりません。しかし実態はどうでしょうか。このような声が寄せられています。

- ・部活動が負担。活動終了時間が18時の時点で、労働時間を超えていておかしいと思う。また、土日の大会の引率も負担。保護者が引率者ではいけないのか。プライベートを捨てなければやっていけない。制度を変えなければ、優秀な人が集まらないどころか、やめてしまうと思う。
- ・定時が16:45なのですが、初任者が校長室に集められ研修会を行う際、いつも17:00～です。1年目なので仕事が終わらず遅くまで残るのは当たり前なのですが、他にも会議（全体）が16:30～設定されたりと疑問を感じます。
- ・2年次とはいえ、定時とはいかなくても、18～19時ぐらいには上がりたいです。毎晩20～21時、大変な時は22時を過ぎるような状況で、よい授業ができるとはとても思えません。東京教組は、過重労働解消に向け、とりくみを強めていきます。

休日勤務も増えている！

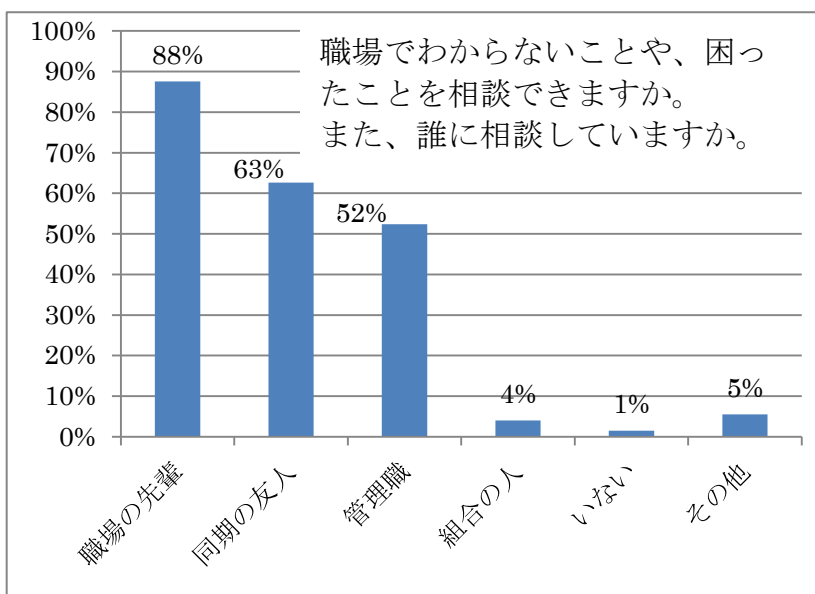
もちろん休日出勤が0の方もいらっしゃいますが、ほとんどの方がさまざまな理由で、土日も出勤されています。それも4時間以上勤務が50%を超えています。とくに中学校では部活動の関係でほぼ100%の方が、6時間以上の勤務をされています。また、土曜授業・授業参観は勤務の振替が長期休業中になるため、疲れがとれないという訴えも多く聞きます。とくに青年教職員は、地域行事等の休日出勤を割り振られることが多く、大きな負担になっています。

- ・部活動の負担が大きい。例年、都大会出場校ということもあり、試合が毎週ある。春の大会が終わってすぐ夏の大会なので、1学期は、土日の休日が全くとれなかった。
- ・休日の部活動で休みがなく、大変な先生がいる。休みたいけど、言えない状況が見て取れる。



相談相手は職場の先輩

「職場でわからないことや、困ったことを相談できますか。また、誰に相談していますか。」という質問には、「職場の先輩」が88%、239人と圧倒的です。次が、「同期の友人」63%「管理職」52%です。やはり身近にいる人が一番のようです。しかし「相談できる人がいない」が1%、4人、いらっしゃることが心配です。専科や養護教員、栄養教職員など学校に一人しかいない職種の方からも、職場に相談相手がないとの回答がありました。



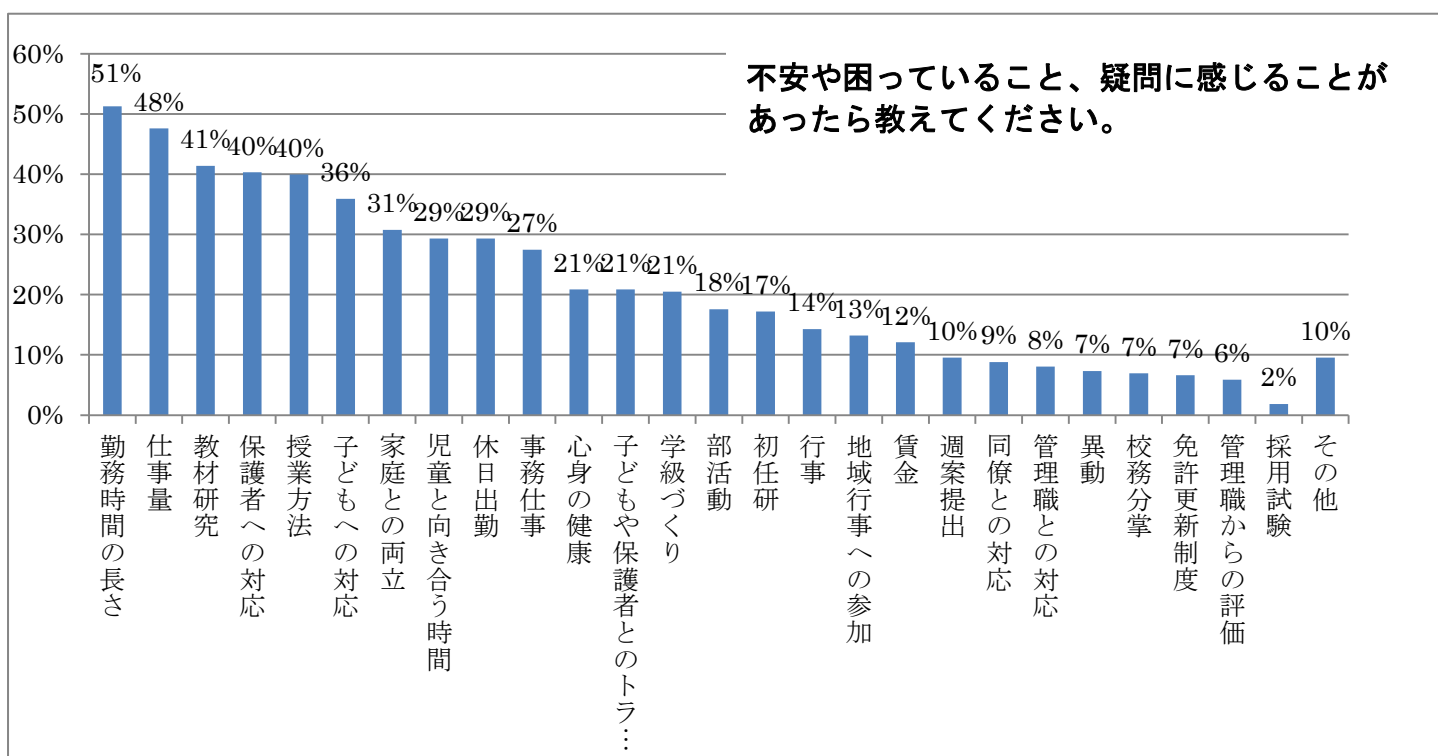
東京教組には、養護教員部や栄養教職員部もあり、どんな些細な事でも相談にのることが出来ます。ぜひ利用してほしいと思います。

03-5276-1311

青年教職員は、勤務時間の長さ・仕事量・教材研究・授業方法に不安を感じている。

「不安や困っていること、疑問に感じることなどがあったら教えてください。」という問いで、50%以上の方が「勤務時間の長さ」をあげています。続いて、「仕事量」「教材研究」「保護者への対応」「授業方法」に40%以上の方が、「子どもへの対応」「プライベートや子育てや家庭との両立の時間の確保」に30%以上の方が不安や疑問を感じています。

青年教職員は、①仕事が多すぎる。長時間勤務を何とかしてほしい、②教職員として力をつけたいと、感じていることがわかります。



その他・自由記述欄には、具体的な悩みや疑問が寄せられました。一部を紹介すると、

- ・特別支援教室の教員の立ち位置、業務内容の理解がされにくく、無理な仕事を言われたり、「特支は楽でいい」等の発言をされることが多々ある。また、管理職への理解が進んでいないため、障害とは何かから説明する必要があり、理解を得ることが難しい。
- ・音楽専科だが、専科は時間があるだろうと言わんばかりに補教や丸付け事務をやらされるが、持ち時数は学担と変わらない。
- ・校長・副校長・養護教諭の3者が、栄養教諭に関する理解が浅く、心無い言葉が多い。3人とも毎日「味がうすい」等、マイナス面を伝えてくる。
- ・とにかくお金の面でも、時間の面でも無駄だらけ。税金の節約のためにも、あらゆることをやめていくべき。(研究発表、あらゆる研修など)
- ・休みがあまりに少なく、仕事のモチベーションを保てません。授業や生活指導に手を抜いている自覚がありながら、気持ちが入らない自分に嫌気がさしています。
- ・職場内の人間関係が悪すぎる。
- ・行事や地域行事が多く、時間がない。
- ・勤務時間の長さはどのように効率よく行えばよいか、とても悩みます。まだ新採だから仕方ないのかと思うこともありますが、先輩の先生方も遅く、将来が不安です。(子育ての時など)
- ・今後、子を産み育てながら働く自分を、想像することができません。

研修の回数・レポートが多い、現場で生かせる内容に！

初任者研修、2、3、4年次研修について、困ったこと、疑問に感じたことなどを記入式で聞きました。

研修の回数が多く、本務である授業や子どもたちと向き合う時間が犠牲になっている悩みが多く寄せられました。研修内容や同期との情報交換など役に立つという声がある一方で、実際の授業や教育活動に役立つ内容を願う声も多く寄せられています。特徴的な記述を紹介します。

回数、時期

- ・初任研が多く感じた。クラスに補教を立てる日が多く、落ち着かなかった。
- ・学校行事と重なっている日が多すぎ、行事に協力できない。
- ・給食中や4時限目終了後すぐに出ないと間に合わない。自分も子どもも落ち着かないまま、さようなら。
- ・宿泊研は1泊2日でもよい気がしました。
- ・成績・所見の締め切りの週に初任研があり、困りました。

研修・内容

- ・学級担任、専科、特別支援教員など、仕事内容に合う研修をしてほしい。
- ・特別支援なのに、直接指導にいかせない内容のものが多く、その時に実践にいかせなかつた。
- ・グループ内での話し合いなどが多い。話し合いで終わる時もあり、無意味な時もある。
- ・大学で学んだ内容と重なる部分が多い。もう少し発展した内容がよい。
- ・教員の仕事と関係のないところに行くのは、納得いかない。
- ・10年以上も臨任を経験してきた人には、無駄な時間にしかならない。

研修・レポート量

- ・初任研の夏休みに提出するレポートの数が10枚近くあり、大変でした。それを指導する先生も、大変そうでした。

- ・書く項目が「感想」と「生かしたいこと」なので、書く内容がかぶってしまう。
- ・研修後、その場でレポートを書いているので、さらに報告書の提出はなくてもいいのではないかなと思う。
- ・レポートをセンターに提出して、それで終わりだったのに疑問を感じた。提出したレポートに対する指導や評価など無く、本当に「出せばいい」というのは、意味がないように感じた。

研修・研究授業

- ・年3回の研究授業は多い。指導案を作成する時間がない。行事があるとそれに追われる。
- ・毎日の授業準備がある中で、1ヶ月以上も指導案を計画したり準備に追われている。
- ・期限付の時に授業観察をしたのに、新規採用になってもう一度やること。
- ・専科なのに道徳をやる意味がわからない。

研修・その他

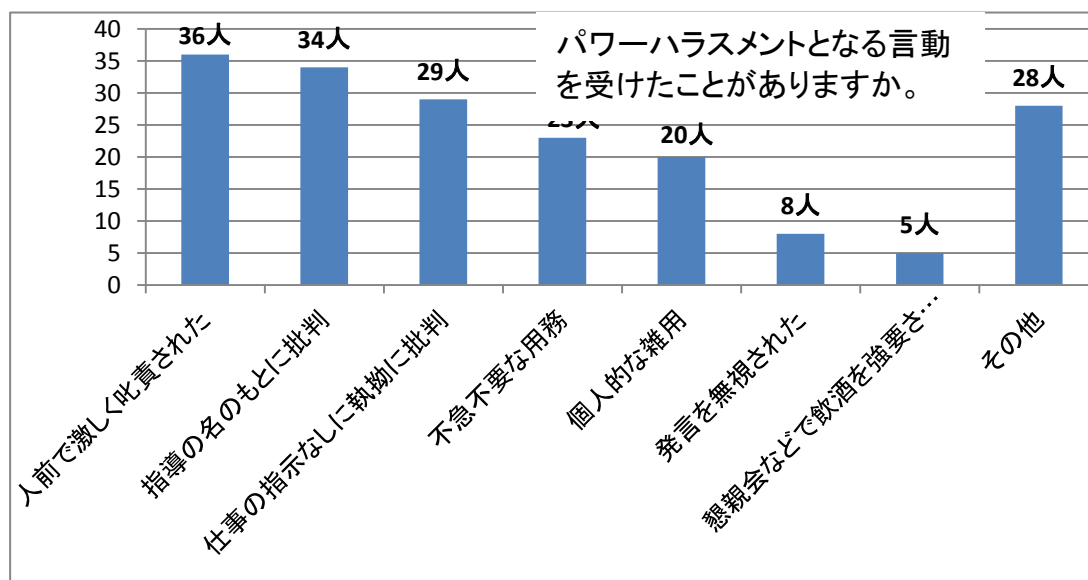
- ・私立小に勤めていたのに、初任研に全て参加しなくてはいけない点が、残念に思う。
- ・期限付任用教員の扱いに疑問を感じます。初年度と同じ研修を受けたりするので。
- ・期限付の時に受ける研修で、宿泊と課題別だけやらないというと、一緒にやってきた人とみぞができる。全部を期限付の時にやらせていただくか、初任になってからやらせて頂くかどちらかにできないでしょうか。
- ・期限付の際、研修のシラバスを作成したが、後補充がつかないのに他の授業を見に行くという研修はすることができないと思う。
- ・研修報告書の書き方や体裁にこだわる管理職がおり、何度も書き直しをさせられるが、子どもの教育につながると思えない。
- ・クールビズの時代なのに、夏でもスーツジャケットを強要されることがあった。
- ・学級経営、授業づくりなど学校に関することがまず第一に大切だと思うのですが、社会人としてのマナー、規律などを学びたいです。

パワハラを受けたと感じたことがある人 80人(29%)

パワーハラスメントは、今や働きやすい環境、モチベーションの最大の阻害要因になっています。

具体的な記述を紹介
します。

- ・異動面談の時に、病気で休んでしまったことを執拗に批判された。また、失敗した時は「あなたは教員に向いていない、やめた方がいいよ。」という発言を受けた。本日起こった出来事を、時間外にも拘らず報告を強制された。



- ・私より10歳くらい年上の女性教員から、根も葉もないことで激しく怒られた上、周りの教員に嘘のうわさを流された。
- ・任用前の面談で、「まさか子ども産もうと思ってないよね」と言われた。(結婚して1年以内だっ

ため) 自分の人生を優先するには、教員を辞めざるを得ないと感じている。

- ・初任の時、「身も心もすべて学校に捧げてください」「恋愛は1年間しないで」と言われた。
- ・マタハラにあっています。定時退勤すると、あなたが帰ってから仕事が始まるとたびたび言われる。
- ・2時間以上も立ったまま指導を受けることがある。自分の仕事もできないし、管理職に時間を返せと言われる。
- ・管理職(副校長)の態度が悪い。職員に対する人権侵害、パワハラが横行している。言葉づかいも悪く、教育に携わる者と思えない。同じことを言っても、言う人や時期によって違った対応をされるので、顔色を見ながら仕事をしている。
- ・同期の職員(年上)に、飲み会の場で、仕事が遅いと、きつい口調で激しく怒鳴られた。
- ・子どもの前での激しい叱責は、もともと少ない子どもたちからの信頼がより少なくなってしまうので、できれば避けてほしいです。

授業力、仕事のノウハウこそ身につけたい青年教職員！

「今、とくに知りたいことはありますか？」【複数回答可】という質問では、グラフのとおり、「授業方法など仕事のノウハウ」を知りたいが、56%と、突出しています。いかに青年教職員が授業や仕事のノウハウを身につけたいと切実に思っているかが研修への要望と併せてよくわかります。また、「自分の権利」「将来の教職員の地位」「賃金」についても関心の高さがうかがえます。

職場で若い人に声をかけ、授業や仕事のことで困っていることの相談相手になることが重要です。

要請があれば、東京教組の組織拡大オルガナイザーを派遣して、職場会のお手伝いもします。

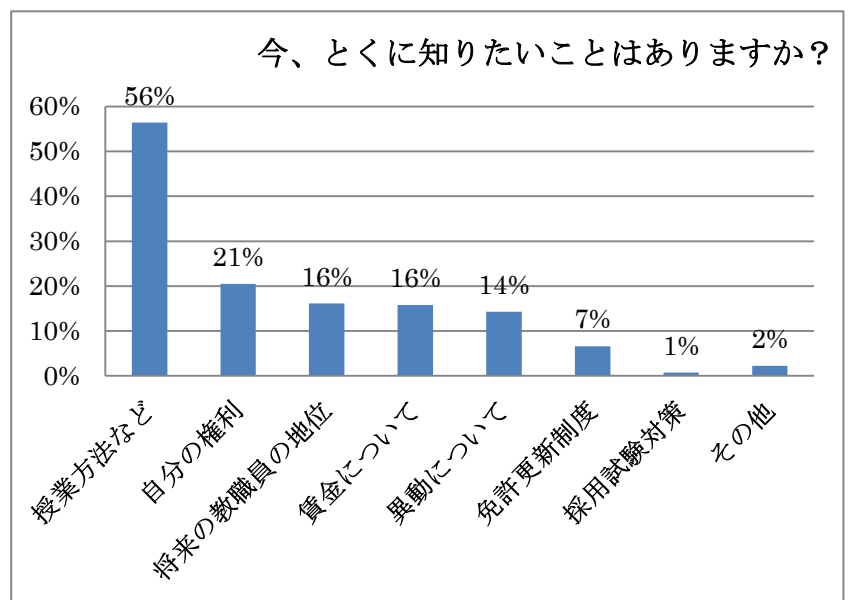
自由記述欄には、こんな声もありました。

- ・部活動の今後の方針(週1日休みになるか、指導員の導入)
- ・支援を要する子や授業に集中できない子への対応
- ・産休・育休中の賃金について

アンケートは、最後に自由記述で「採用試験・面接・また中途採用などで困ったこと、おかしいと感じたことはありませんか。」と「その他、自由に書いてください。」の欄を設けました。自由記述の欄にもびっしりと職場で困っていること、知りたいことを書いてくれた人がたくさんいました。

今年度も期限付き任用の不安、疑問が多数！

- ・期限付の先生が、また期限付での採用というのはどうなのでしょう。正規と同じだけの仕事量、生徒への対応をしているのに、一度の面接で可否を決めているのなら、人権的に守られていない



と思う。

- ・期限付任用の地位があいまいで、初任研との兼ね合いが分かりづらい。一年勤務後も、試用期間となり、実質二年間不安定な状況で不安であった。
- ・出身が地方で何度も帰ることはないか聞かれた。期限付で登録していても3ヶ月ほど声がかからず、その間の仕事に困った。
- ・期限付任用制度、フルタイムで働いて、責任も他教員と変わらないにもかかわらず、もう一度試験を受けなければならないこと。またそれで落とされることもあること。
- ・期限付として採用され、研修も受け、熱心に指導していたにもかかわらず、その夏の試験で落とされた人がいること。仕組み自体がおかしいと思う。
- ・期限付や産休代替は、正規の先生と異なり準備期間がないまま初日を迎えることが多いです。ただでさえ、採用試験において教員の資格不足とみなされた者が、準備期間もなく正規の先生方と同じ仕事量を求められるのは難しいと思います。その点も配慮して、今後の採用人数を調整していただきたいと思います。

面接、選考、配置への不安、不満

- ・私学にて専任業務を3年経験しましたが、特例が認められず一般受験となったため、採用後、全て1年目の研修を受けなければならないと困っています。研修もすべて一年目対象の話をするため、ついていけない（雰囲気など）ことが多いです。職場においても、立場上は初任扱いなのに、業務上では経験済みでしようと思われることが多く、困惑しています。
- ・採用時の面接において、男性の方に「顔が疲れているけど大丈夫？」と聞かれた。少し疑問を持った。失礼だとも思った。
- ・優れたものが採用ではなく、扱いやさそうな者が採用されている。資質、能力の評価ではない。
- ・初任者ですが、通勤に片道2時間かかります。毎日、異動するだけで疲れます。その中で「何であの新採は部活を熱心にやらないんだ」という無言の圧力を受け、なんだかつらいです。学校を20時に出ると家には22時。「引越せば？」とも言われますが、家族の職場を考えるとそれできません。

職場環境、職場の人間関係などの悩み

- ・特別支援教室の教員の立ち位置、業務内容の理解がされにくく、無理な仕事を言われたり、「特支は楽でいい」等の発言をされることが多々ある。また、管理職への理解が進んでいないため、障害とは何かから説明する必要があり、理解を得ることが難しい。
- ・全員が強制的に部活顧問を持たされる。部活の外部指導を管理職に頼んでも、自分で探せと言われて、何もしてくれない。部活動の顧問の人数をどうやって決めたのかが、納得いかない。部活や授業に関してもだが、しっかりとしたマニュアルや引継ぎがないまま進められていく。
- ・現在は、校長、副校長ともに、とても親身になって相談にのってくださる状況なので、忙しい中でもなんとか頑張っています。ただ、部活の公式戦引率など、土日祝の負担が大きく、休暇がとれない日々が続いており、どこかで折れてしまいそうで不安です。同僚みんな頑張っているのに、晴れ晴れとした気持ちで働けない忙しすぎる現状に疑問を感じています。
- ・女性の出産について、職場全体が前向きではない。採用時、「子どもを産もうと思っていないよね？」と女性の主任教諭から言われ、ショックを受けた。
- ・勤務時間が長く、休めない。「休憩時間」は設けられているが、結局仕事をしている。夜遅くまで仕事をするのが日常茶飯事で、睡眠時間は5時間あればいいほう。子どもたちの前で、元気に

ふるまっている自分が辛い。いつもガマンしてため込んでいる自分が情けなく思える。

やりがいを感じる仕事、職場

- ・学校の先生方、副校長先生に相談すると、指導するときに気を付けることを教えたもらえるので助かります。子どものトラブルに対しても、保護者の方に協力していただけることが多いので、一つ一つ丁寧に対応し続けたいです。
- ・今の職場は働きやすいです。管理職にも相談しやすく助かっています。しかし、若手が多いため、ベテランの先生方から仕事のノウハウなどを学ぶということできないのが残念です。
- ・初任者の思いを届けられるこのようなアンケートができますことを嬉しく思います。よろしくお願ひします。
- ・組合の存在は、必要だと思ひます。教員にとっての強固な後ろ盾があると、指導の自信と心の支えにつながります。

問題となっているいくつかの事例については、都教委・地教委に問題点を正し、改善されつつあるものもあります。

長時間労働

東京都教育委員会に対し、教員の長時間労働是正・「働き方改革」に対する要請書を提出し、労働基準法や労働安全衛生法に則った勤務時間の目標設定や長時間過密労働を解消するためのとりくみ方針、またその実効ある具体的内容を盛り込むようにすることを求めています。

部活動

合宿等宿泊行事における勤務時間の調整、平日の活動における超過勤務時間の調整措置等、教員の負担を大幅に縮減することを求めています。

期限付制度

都教委に対し、期限付き制度の根本的な改善を強く求めています。

パワハラ

都教委、地教委に対し実例を報告し、解消を求めています。

困った時には、気軽に連絡を！！

力になります！ 東京教組！！

03-5276-1311

ttutokyo1311@gmail.com

ホームページもご覧ください。

<http://tokyokyouso.org/>

東京教組で検索できます。

東京都公立学校教職員組合青年部